

令和2年度
第3回
総合教育会議議事録

日時 令和3年1月25日(月)午前10時～

場所 体験型経済教育施設「Elem(エリム)」

1階カフェテリア

第3回総合教育会議 議事録

- 1 日時 令和3年1月25日(月) 午前10時～午前11時
- 2 場所 体験型経済教育施設「Elem(エリム)」1階カフェテリア
- 3 出席者 いわき市長 清水 敏男
いわき市教育委員会 教育長 吉田 尚
いわき市教育委員会 教育長職務代理者 馬目 順一
いわき市教育委員会 委員 根本 紀太郎
いわき市教育委員会 委員 宮澤 美智子
いわき市教育委員会 委員 小峰 美保子
- 4 議題 いわき市教育大綱の改定について 資料1～5
- 5 その他 発言事項なし

【会議内容】

- 1 開会
- 2 議題

会議設置要綱第4条の規定により、市長が議長となること、また、同要綱第7条第2項の規定による第3回会議の議事録への署名は、吉田教育長及び根本委員が行うことを確認した。

(1) いわき市教育大綱の改定について

① 事務局説明

ア 政策企画課企画調整係 米本係長

資料1「『いわき市教育大綱(改定素案検討資料)』に対する市民意見募集(パブリックコメント)の実施結果について」、資料2「いわき市教育大綱(改定素案検討資料)に対する市民意見と大綱上の位置付け」、資料3「令和2年度第2回いわき市総合教育会議における委員意見への対応状況について」、資料4「前回会議時との新旧対照表(修正箇所抜粋)」、資料5「いわき市教育大綱(本編)により説明を行った。

② 質疑、意見等

(根本委員)

- ・ 市民意見の内容(資料2)を見たが、不登校等についてこのように進めてほしいというものであり、大綱自体の内容がおかしいという意見ではないため、基本的には市民の賛同も得たという認識でよいか。

- ・ 前文（資料4）については、前回会議の意見を踏まえ、とてもわかりやすくなったと思う。

（米本係長）

- ・ 委員のおっしゃるとおり、教育大綱は教育に関する総合的な施策の方針や方向性を定めるという趣旨で策定しており、いただいた市民意見は大綱の中で対応しているという認識のもと、大綱自体の修正は行わず、個別の取組みを進めることとしたい。

（根本委員）

- ・ 市民意見では、不登校やICTのことが多かったと思うので、担当部署にはしっかり取り組んでいただきたい。

（小峰委員）

- ・ 市民意見で「次世代の学び」という言葉（資料2）が出てくるが、市として、その言葉をどうとらえているか伺いたい。
- ・ 不登校・ひきこもりについて、成長段階に応じて、市や県でそれぞれ担当部署が分かれている形かと思うが、どこかで中核になる部署がないと、今後対策が難しくなっていくと思う。
- ・ 「自然体験」の表現について、前回会議を踏まえ、柱Ⅰの「個性を生かした学校教育の推進」の部分（資料4）に入れていただいたが、柱Ⅱの「生涯を通じた学習活動の推進」中の、②『学び』を育む機会の充実の取組み例「学校・家庭・地域の連携・協働による学習機会の充実」（資料5）にも入れていただけないか。

（米本係長）

- ・ 今般改定された国の学習指導要領のなかで、グローバル化・ICT化などの状況変化に対応するために、子どもたちに身に付けさせるべき力が述べられており、そういった力をつけるための教育のあり方というものが、「次世代の学び」につながってくるという認識である。
- ・ 「自然体験」については、委員のおっしゃる部分でも対応を検討したい。

（小峰委員）

- ・ ICT・情報というものはただ使わせればそれでいいということではなく、一人一人を大事にするためのICTであり、自己肯定感とか自己存在感を高めるための情報教育であるというところに根底があると感じているため、そういった大事にしたい部分についても、しっかりとおさえながら、新しい時代に対応した教育へ向かっていけたらと思う。

(宮澤委員)

- ・ 前文について、大変わかりやすく、読みやすくなった。
- ・ 情報化・ICT活用について、ICT サポーターや支援員の人数, 訪問間隔をお伺いしたい。
- ・ 不登校の子どもを持つ保護者へ、必要な情報を、必要なときに、的確にわかりやすく、伝えられるようなネットワークの構築を、市のなかで引き続き進めていただきたい。
- ・ 自習場所の確保について、勉強のやる気のある児童・生徒が、社会のなかで学習できる場をもう少し増やしてもいいのではないかと思う。

(米本係長)

- ・ 自習場所については、図書館や地域等でのネットワークを構築していければと考えている。

(奈雲学校教育推進室長)

- ・ ICT サポーターの訪問については、月2回程度各学校を巡回する体制となっている。
- ・ ICT サポーターには、ICT を使うことが目的とならないよう、教員の方がしつかりと授業を構築できるような支援をしていただきたいとお願いしている。
- ・ ICT サポーターの人数については、リアルタイムで何名かというのを改めて確認させていただきたい。

(宮澤委員)

- ・ 現場の先生方とコミュニケーションをとりながら、具体的に動いていってほしい。

(馬目委員)

- ・ 市民意見への対応について、意見が具体的で個別な内容であり、大綱の中に考えが含まれているので、これで了承したい。
- ・ 柱Ⅴ「地域に根ざした市民文化の継承と創造」の、②「歴史文化遺産の保存と活用」の取組み例に、「文化財の修理現場の特別公開」(資料5)とあるが、「修理現場」という表現にこだわらないのであれば、「文化財の特別公開」の方がよいのではないか。
- ・ 製本した際のページの打ち方等の装丁について、のちほど事務局と検討させていただきたい。

(古市主幹)

- ・ 「文化財の修理現場の特別公開」の部分だが、「修理現場」というより文化財をどうやって伝えていくかという視点が大事かと思うので、表現を修正させていただきたい。
- ・ 装丁の部分については、会議終了後に具体的にアドバイスをいただければと思う。

(教育長)

- ・ 市民意見については、新しい大綱に基づいて取り組んでいくうえで大切にしていかなければならないと思う。
- ・ 市民意見の内容を見たときに、現在取り組んでいる内容が十分に周知されていないと思ったため、工夫をしていく必要がある。
- ・ 学校教育は、教育の時代の流れに流されてしまうという傾向があるため、今回 ICT 教育が大々的に出てきているが、あくまで ICT はツールであるので、いかに子どもたちにきちんとした知識をつけさせていくか、何のための ICT なのかというものは十分に注意しながら、取り組んでまいりたい。
- ・ 今の子どもたちが社会に出る時代には、半分は仮想現実の世界で生活することになると思われるので、そういった社会を迎えるにあたって、正しい情報をしっかりと取捨選択しながら、学校教育を構築してまいりたい。

(市長)

- ・ 大綱に「子どもたちの個性を伸ばす」という表現があるが、伸びる子はどんどん伸ばす、あとはセーフティネットをしっかりとやっていくという2つが大事だと考えている。
- ・ 生徒会長サミット・いわき志塾・いわきアカデミアの中で、日本・世界で活躍する人材を着実に育てるとともに、いわきネウボラなどの、出産・子育てについてなんでも相談できる体制を整えてきた。
- ・ 不登校については、福祉部門や教育部門が一体となって、一つの軸をなして、取り組んでいくことが必要になっていくと考えている。
- ・ 教育大綱の改定にあたっては、委員の皆様に様々な視点・意見をご議論いただき、感謝申し上げたい。
- ・ 今後、事務局担当の方でしっかりと成文化し、教育大綱を発表していければと思うので、引き続きのご支援・ご協力をお願い申し上げたい。

3 その他
発言事項なし。

4 閉会

【署名】

吉 田 尚

根本 紀太郎
